

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	基礎プログラミングおよび演習		
英文授業科目名	Fundamental Programming		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-		
開講学科・専攻	電子工学科 量子・物質工学科		
担当教官名	西尾 和憲		
居室	西8-801		

公開E-Mail	授業関連Webページ
nishio@ee.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>プログラミングは様々な分野において、研究や開発に必要な技術の一つである。          プログラミングの基礎知識を習得するために、初歩的な書法と技法を学ぶと共に、          UNIXワークステーションを使用した実習・演習により、簡単なプログラムの作成          およびその実行処理ができることを目標とする。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
コンピュータリテラシー

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
特になし

<b>【教科書等】</b>
<p>教科書： 特に指定しない          参考書： コンピュータリテラシーの授業で使用したもの</p>

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容：

下記の項目に従って、C言語による基本的なプログラムを学習・作成する。

- 1．C言語の基礎    2．演算処理    3．制御処理  
4．関数            5．配列            6．構造体の変数

(b) 授業の進め方：

講義および演習との一体進行の授業であり、情報基盤センターの演習教室で行う。  
演習課題のプログラムを作成するとともに、その実行操作を行い確認・検討する。

(c) 授業時間外の学習(予習・復習等)について：

授業における講義および演習の時間配分に制約があるので、配布される資料や演習課題の予習と復習が必要である。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

演習課題に対する提出レポートの内容と出席状況に基づき総合評価する。

(b) 評価基準：

授業内容の各項目に関連する基礎事項を理解し、演習課題に対するプログラム作成および実行処理に適用できること。  
授業に2/3以上出席して、各項目に関する演習課題レポートの70%提出・受理をもって合格の最低基準とする。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜に相談に応じる。 演習時間中には積極的に利用するとよい。

【学生へのメッセージ】

各自の技量および進度に合わせて演習課題に取り組み、一歩ずつ確実に基本の知識を習得して実力をつけてください。

【その他】